



# 広報

# リユース

平成28年  
(2016年) 7月号 NO.143

ISO14001 認証取得



Certificate No. AJA06/10094

## 東埼玉資源環境組合 構成市町

越谷市 草加市 八潮市  
三郷市 吉川市 松伏町

### 今号の主な内容

- 平成27年度ごみ処理状況 ……2
- 「エコスクール」吉川市立関小学校 ……3
- 6月組合議会報告 ……3
- 「そうか環境とくらしフェア2016」出展…3
- 夏休み親子スクール参加者募集 ……4
- こしがや田んぼアート2016 ……4
- 堆肥販売のお知らせ ……4

- 第一工場 〒343-0011 越谷市増林三丁目2番地1 計画課：☎048-966-0121 第一工場業務課：☎048-966-0123  
FAX 048-965-6569 総務課：☎048-966-0122
- 第二工場 〒340-0001 草加市柿木町107番地1 第二工場業務課：☎048-936-1251 FAX 048-931-5206
- 発行 東埼玉資源環境組合 ●編集 計画課 ●ホームページアドレス <http://www.reuse.or.jp/> (PCサイトのみ)



## 第二工場ごみ処理施設(PERSICLE)の紹介

草加市にあります第二工場ごみ処理施設(愛称「PERSICLE(パーシクル)」)は、平成28年4月から本格稼働し、草加市と八潮市の可燃ごみを適正かつ安定的に処理しています。

ごみを処理した熱を利用して発電した電力を施設内で使用するほか、近隣施設に供給し、循環型社会の実現に向けて取り組んでいます。

公募により草加市在住の小学生が考案した施設の愛称「PERSICLE(パーシクル)」は、草加市柿木町にある施設であり、資源の節約と分別して資源として再利用するという想いから、柿の木を意味する「persimmon(パーシモン)」と再利用を意味する「recycle(リサイクル)」を融合させた言葉です。



### 【開かれた環境情報コーナー】

管理棟の情報コーナーでは、施設の仕組みがわかる大型モニターや、運転情報やダイオキシン類などの環境データを見られるパソコンを設置しています。平日の午前9時から午後4時まで利用できます。



### 【大容量のごみピット】

ごみピットは、処理能力の約7日分に相当する2,100トンのごみをためることができます。ごみクレーンは、コンピューター制御により自動運転しています。



### 【安全性の高いごみピットゲート】

ごみ収集車がごみピットゲートに近づくと自動でゲートが開きます。車両や人の転落及び臭気拡散防止のため、ゲートは二重扉となっています。1日平均約130台のごみ収集車による搬入があります。

### 【地域の周辺環境に配慮したデザイン】

ダイオキシン類をはじめとする有害物質の低減に取り組み、自然環境に配慮しています。また、煙突を建物と一体化するなど地域周辺の環境にも配慮しています。



### 【高効率な発電(蒸気タービン・発電機)】

ガス化溶融炉から送られてくる高温燃焼ガスの熱を利用してボイラで水を蒸気に変え、その蒸気でタービンを回転させ発電します。最大9,400キロワットの発電ができます。

### ● 第二工場ごみ処理施設の見学を受け付けています(要予約)

- 見学可能日 : 火・木・金曜日
- 見学時間 : 午前の部 9:30~11:00 午後の部 13:30~15:00
- 電話予約受付 : 平日 8:30~12:00 13:00~17:00
- 対象 : 10人以上の一般、行政団体
- 問合せ先 : 計画課 048-966-0121
- ※小学校の工場見学については、平成29年度から受付予定です。

※詳細につきましてはホームページをご覧ください

## 東埼玉資源環境組合設立50周年記念・第二工場ごみ処理施設竣工式典を挙行了しました



表彰状を受け取る小森さん

4月27日(水)に草加市柿木町にある第二工場ごみ処理施設において挙行了した式典には、国、県の行政関係者や歴代の管理者・理事、埼玉県議会議員、組合議員、第二工場ごみ処理施設の地権者、施工業者など、約130人の方が列席されました。

また、上田埼玉県知事をはじめとする来賓の皆様からご祝辞をいただき、第二工場建設に伴いご協力いただいた皆様へ組合から感謝状を贈呈しました。

第二工場ごみ処理施設の愛称募集で、最優秀賞(「PERSICLE(パーシクル)」)に選ばれた草加市在住の小森思佳さん(小学4年生)と優秀賞の三郷市在住の坂元小茉莉さん(小学5年生)の表彰も行いました。



# 平成27年度のごみ搬入量と処理状況

## ●ごみの搬入状況(図1)

組合に搬入される可燃ごみには、家庭から出されるごみ(家庭系ごみ)と商店や事業所などから出されるごみ(事業系ごみ)があります。

平成27年度に管内5市1町から組合に搬入された可燃ごみ量は、家庭系ごみが176,235トン、事業系ごみが68,973トンで合わせて245,208トンありました。

平成26年度(242,934トン)と比較すると、2,274トン、0.94%増加しました。搬入量は、みなさまのごみ減量に対する取組により、平成15年度をピークに減少してきましたが、ここ数年は、ほぼ横ばいの状況が続いています。

## ●一人一日あたりのごみ排出量(図2)

家庭系ごみでは、住民一人一日あたりの搬出量は531.17グラムで、平成26年度の531.55グラムに比べて0.38グラム減少しています。

また、事業系ごみを含めた平成27年度の一人一日あたりの排出量は739.05グラムで、平成26年度の739.01グラムと比較して、一人一日あたり0.04グラム増加しています。

## ●ごみ組成調査(図3)

組合では、搬入されるごみの内容物調査を定期的に行っています。これは、ごみの種類や量などの割合を把握するほか、燃えないごみや資源物の混入量を調べて構成市町に報告し、ごみ減量化・資源化対策の資料として役立てています。

平成27年度の調査結果では、紙・布類が全体の20.9%を占めていて、これら紙・布類には、資源物としてリサイクルすることができる雑誌、ダンボール、新聞紙などが62.7%も含まれていました。

また、台所からでた生ごみ類(ちゅう芥類)は、21.7%ありました。これからも、構成する5市1町と協働で分別による資源物のリサイクルを進めてまいります。管内住民のみなさまにおいては、ごみの減量化・資源化にご協力をお願いします。

## ●ごみ焼却量(図4)

平成27年度のごみ焼却量は、242,525トン(前年249,341トン)で、第二工場ごみ処理施設の試験稼働に伴い、焼却量を調整したため平成26年度に比べて6,816トン少なくなりました。第一工場の焼却施設は、運転開始から20年以上が経過し、老朽化が進んでおりますが、定期的に焼却炉などの点検を実施して、設備の更新や部品の取り替えを行い、安全で安定的な焼却処理を進めてまいります。管内住民のみなさま及び事業所におきましては、施設の延命化のためにも、引き続き、ごみの減量化にご協力をお願いします。

## ●最終処分場の埋立量(図5)

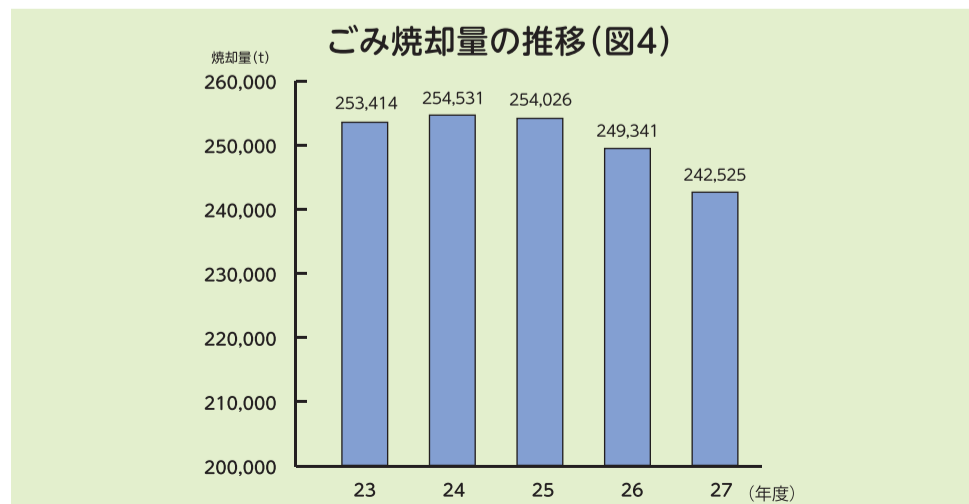
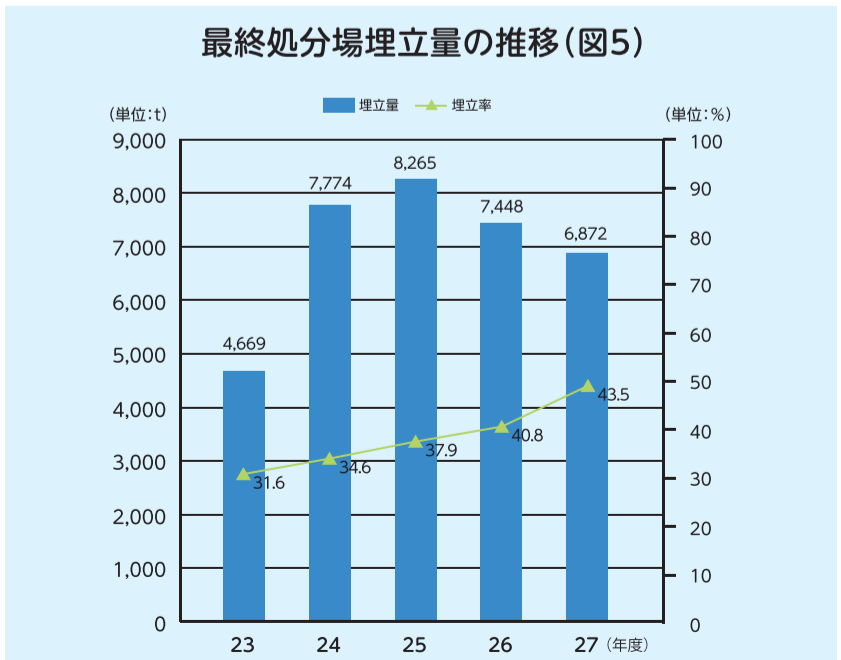
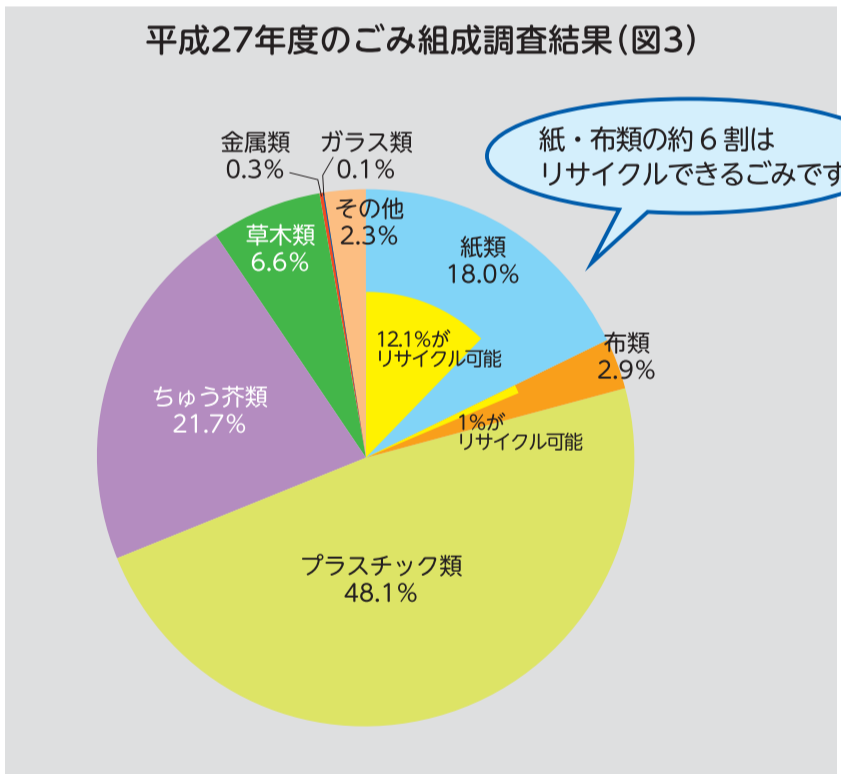
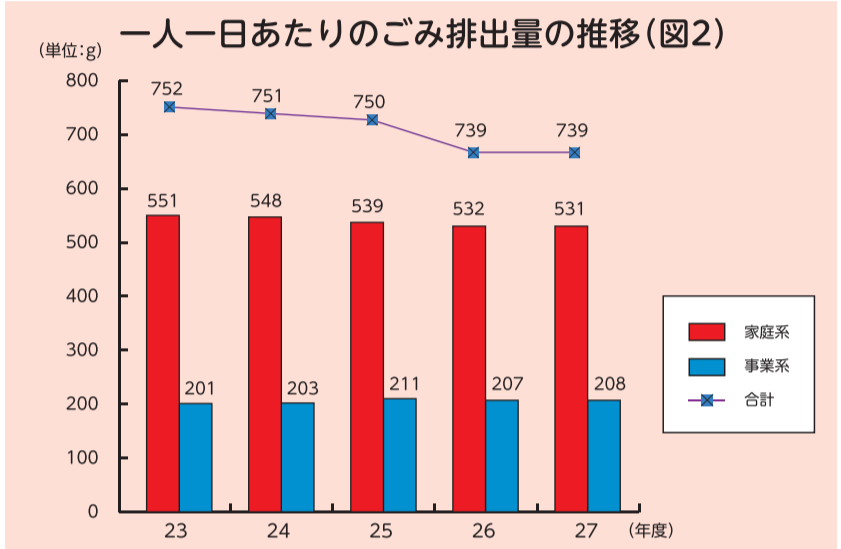
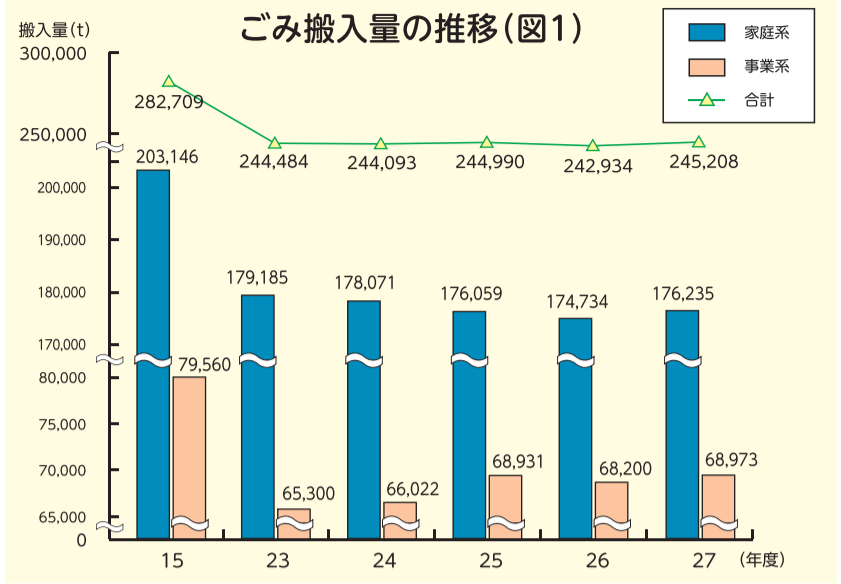
平成27年度の埋立量は、6,872トンで平成26年度の7,448トンと比べ576トン減少しました。平成14年度の使用開始からの累積埋立量は、110,926トンとなりました。

また、埋立率はスラグの見かけ比重を1.5として算出した場合、埋立容量170,000m<sup>3</sup>のうち43.5%となります。

## ●おわりに

ごみの減量化・資源化についての問題は、住民・事業者・行政が一体となって取り組まなければなりません。それぞれが問題意識や情報を共有し、互いにパートナーとして協力しあうことが大切です。

組合では「環境と情報」をテーマに、これからも構成市町のイベント参加や広報リユース、ホームページなどを活用してごみ減量化・資源化の啓発活動を行ってまいります。





# 体験を通して 学ぶエコ活動

## 吉川市立関小学校

吉川市立関小学校(黒沢孝行校長、児童数762人)は、吉川市の中ほどに位置し、市内4番目の小学校として吉川団地の中に建てられました。

本校は「采がい、居がい、学びがい」のある学校をキャッチフレーズに、学校・家庭・地域が連携を図り、児童に様々な体験的な学習の機会を作っています。

子どもたちは学級や委員会活動を中心に様々な体験を通してエコ活動に取り組んでいます。

## 資源回収(古紙・インクカートリッジのリサイクル)

資源ごみのリサイクルに全校で取り組んでいます。各教室にリサイクルボックスを設置し、紙ごみを回収しています。回収した紙ごみは裏面を活用したり、回収業者にお預りしてリサイクルしています。教室から出るごみが減るだけでなく、「段ボールはまとめて資源倉庫に。リサイクル用紙にビニールコートされた紙は入れない。」といった分別の意識が、自然と児童に芽生えてきています。

また、PTAの協力をいただき、インクカートリッジのリサイクル運動も行っています。本年度はベルマーク活動とあわせて実施することで運動会の大玉を購入することができました。児童は自分たちのエコ活動が形になったことをとても喜んでいました。



▲インクカートリッジとベルマークで購入した 大玉



▲リサイクルボックス

## 牛乳パックのリサイクル

吉川市全体で行われている牛乳パックのリサイクルに、本校も取り組んでいます。入学したばかりでパックの開き方を知らない1年生には6年生が教えています。ひと月もすると、1年生も上手にパックを開けるようになり、学級で洗浄・乾燥させ、回収できるようになります。

回収した牛乳パックはトイレトーパーになって戻ってくるのだと話す、児童はびっくり。一生懸命牛乳パックのリサイクルに取り組むようになりました。



▲1年生の牛乳パック洗い

## 観察池

5年前まで泥がたまっていた観察池は、職員の手によりきれいに生まれ変わりました。地元吉川の魚を児童が観察できるように、タナゴやフナ、コイなどが飼育されています。この3年間はタナゴの稚魚が毎年生まれており、今年はきれいななった池に、ギンヤンマが卵を産みつけ、大きく羽化しました。

児童にとって、小さな命を見るのは感動体験です。見つけたことを、とてもうれしそうに伝えに来てくれます。こうした命に触れる体験を通して、環境を守る意識を育てています。



▲タナゴの稚魚を見つける児童



▲羽化したギンヤンマ

## グリーンカーテン(ヘチマ)

4年生が栽培したヘチマで職員室の前にグリーンカーテンを作っています。夏の日差しが強い日もカーテンの陰に入れば涼しく過ごせます。エアコンの設定温度も地球にやさしい温度になりました。このグリーンカーテンには4年生や栽培委員会の児童が夏休みも水やりに来て、育ててくれました。たくさんできた実は、ヘチマたわしにして地域の人にも配りました。種は次の4年生にプレゼントされ、今年もすくすくと育ち始めています。



## 6月組合議会が開かれました

平成28年6月東埼玉資源環境組合議会定例会が、6月28日に開催されました。

今議会では、管理者から議案の提出はありませんでした。



## 平成27年度 情報公開制度 の実施状況

### をお知らせします

情報公開制度は、組合が保有する情報を住民の皆様からの請求により公開する制度です。

平成27年度は、情報公開請求はありませんでした。

●問合せ  
総務課情報公開担当  
☎ 048-966-0122

## 『そうか環境とくらしフェア2016』に参加しました

5月29日(日)に草加市立中央公民館において「未来の子供たちのために私たちができること」をテーマに、『そうか環境とくらしフェア2016』が開催されました。

当組合も参加し、新聞紙で作ったリサイクルバッグと古紙100%のトイレトーパーを配布して、ごみの減量とリサイクルを呼びかけました。

「動いている学童保育所で子どもたちと作りたい」「野菜を差し上げるときに入れたら素敵!」と新聞紙バッグを手にした方々に興味・関心をもっていただきました。これを機に、家庭や職場で分別・リサイクルの輪が広がることを期待しています。





## ライトアップのお知らせ

日曜展望台公開前日などに第一工場のライトアップを行っています。  
夜空にそびえる幻想的な姿をお楽しみください。



ライトアップ実施日  
7/16(土)・7/24(日)・8/13(土)～  
8/15(月)・8/20(土)・9/17(土)  
(午後7時から9時まで)

## マイバッグでお買い物を!

**価格**  
大小とも 1枚 400円

**大きさ**  
●エコバッグ(大)  
タテ36cm×ヨコ46cm×底マチ14cm、  
ハンドル(ひも)60cm  
●エコバッグ(小)  
タテ36cm×ヨコ35cm×底マチ10cm、  
ハンドル(ひも)65cm

**販売場所**  
第一工場事務所(展望台受付)

**問合せ**  
計画課 ☎ 048-966-0121

厚手生地オリジナルエコバッグを  
展望台受付で販売しています。



## 統計データ

平成28年4月～平成28年6月実績値

### ■ 可燃ごみ搬入量(t)

(前年度対比 852t 増)



### ■ し尿搬入量(kℓ)

(前年度対比 457kℓ 増)



### ■ 売払電力量(kWh)

(前年度対比 1,944,456kWh 減)



### ■ 熱供給量(GJ)

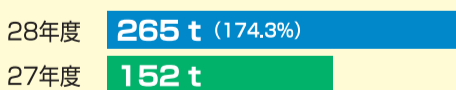
(前年度対比 665GJ 増)



※熱供給量 G(ギガ) = 10億の単位  
1J(ジュール) ≒ 0.24cal(カロリー)

### ■ 堆肥化施設搬入量(t)

(前年度対比 113t 増)



※28年度から河川の刈り草の搬入を再開した

## 夏休み親子スクール参加者募集



小学生と保護者を対象に、ごみの減量やリサイクルの推進を図るため、ごみ処理、リサイクル及び環境問題に係る講話とあわせて、東埼玉資源環境組合第一工場の工場見学を実施します。夏休みの自由研究にも役立つ講座です!

- ◆日時 平成28年7月26日(火)午前9時30分～11時30分
- ◆開催場所 東埼玉資源環境組合 第一工場 (越谷市増林三丁目2番地1)
- ◆内容 ①小学生を対象としたごみと環境問題の講話  
②東埼玉資源環境組合第一工場の施設見学
- ◆講師 埼玉県環境部資源循環推進課 職員
- ◆定員 120人  
管内5市1町(越谷市・草加市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町)  
在住の小学生とその保護者
- ◆参加費 無料
- ◆申込方法 7月15日(金)午前8時30分から電話で計画課へお申し込みください。  
電話 048-966-0121(定員になり次第締め切ります)
- ◆交通 駐車場あり  
なお、受付順に55人まで送迎バスをご利用いただけます。  
ご希望の方は申込時に予約してください。  
集合時間と場所は、午前9時にJR越谷レイクタウン駅北口のロータリーから出発します。
- ◆保育 スクール開催時間中、2歳から就学前のお子さんをお預かりします。希望される方は申込時にお申し出ください。
- ◆その他 各自、筆記用具をご持参ください。写真撮影は可能です。



▲前回の様子 ▼工場見学



【案内図】



## 「こしがや田んぼアート2016」～見ごろは7月～

今年も、こしがや田んぼアートの季節となりました!

7回目となる今年は、色彩別の稲(古代米)を使って、リオデジャネイロ・オリンピックに出場する水泳選手の星奈津美選手(越谷市出身)を描きます。

5月29日(日)に約210人が参加して、第一工場南西側増森地内の田んぼで田植えが行われました。参加者の中には、児童のほかに高校生の姿もあり、元気いっぱい田植えを楽しんでいました。

第一工場の展望台は地上80メートルの高さがあり、田んぼアートを鑑賞するには絶好のロケーションです。展望台の通常公開は平日と第3日曜日ですが、田んぼアートの見頃である7月から8月は下記の日程で特別公開を行います。この機会にぜひお越しください。



開会式



田植え



7月7日現在

- 通常公開日: 月曜日～金曜日(祝日除く)/第3日曜日
- 受付時間: 午前9時から午後4時(公開は午後4時30分まで)
- 今後の特別公開日程(いずれも日曜日)  
7月 17日、24日、31日 8月 7日、14日、21日、28日

「こしがや田んぼアート2016」についてのお問合せ 越谷市観光協会(事務局) 電話:048-971-9002

## 堆肥の販売を行っています!

### ■ 販売日

7月 25日(月)  
8月 8日(月)、22日(月)  
9月 12日(月)、26日(月)  
10月 11日(火)、24日(月)  
(これ以降の販売は広報紙リユース10月号及びホームページでお知らせします。)

### ■ 販売量

1名で購入できる量は50kgまでです。  
(販売単位は10kg単位です)  
※必ず袋及び容器などの入れ物をご用意ください

### ■ 堆肥の規格

せん定枝及び刈り草の混合堆肥  
※堆肥の成分分析及び放射性物質濃度の測定結果は、ホームページ等で公表しています

### ■ 販売金額

10kg あたり100円

### ■ 販売場所

第一工場北側堆肥化施設  
いきいき館駐車場となり  
(越谷市増林三丁目2番地1)  
■問合せ 第一工場業務課  
☎ 048-966-0124

### ■ 販売時間

午前9時30分～11時30分  
受付:整理券の配付は8時30分からです。  
※お車の方はいきいき館駐車場をご利用ください



梅雨明けが待ち遠しい時期となりました。  
我が家の子どもたちは、それぞれ夏休みの予定を立てています。  
しかし、現在、我が家では高齢の両親と一番下の子の育児で忙しい日々を過ごしており、旅行の予定を考える暇もありませんが、やはり、子どもたちのため、遠くへの旅行でなくとも、家族全員で出かけられる旅行をしたいと思っています。  
みなさまも、楽しい夏休みをお過ごしください。

## ちよつと一言

	人口(人)	前年同月比(人)	世帯数(世帯)
越谷市	337,726	2,107	146,940
草加市	246,618	946	112,154
八潮市	86,540	673	38,592
三郷市	138,229	1,166	60,475
吉川市	71,245	715	28,593
松伏町	30,202	△268	11,730
合計	910,560	5,339	398,484



平成28年6月1日現在

## 管内人口